

広報 ひこね

2007
8/1・15

▲城東小学校から見た佐和山（グラウンドの絵は、築城400年祭「佐和山一夜城復元プロジェクト」で使用される佐和山城天守の絵）

特集

伝統と新たな可能性を明日へ

—地場産業・彦根仏壇の試み—

9	募集 彦根シティマラソン 市職員を募集します ほか	12	10月1日から 乳幼児福祉医療費助成制度の 所得制限をなくします
10	国宝・彦根城築城400年祭 彦根サウンドラリー2007 チケット販売 佐和山一夜城復元プロジェクト 参加者募集	14	彦根市防災訓練
11	夏休みは、 彦根城博物館へ行こう！	20	核兵器の廃絶と世界平和を求めて ヒロシマ原爆展

今回の「広報ひこね」は、1日号と15日号の合併号です。
8月15日号は発行しませんので、あらかじめご承知ください。

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育(はくく)むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

彦根の地場産業 特集

伝統と 新たな可能性を 明日へ

―地場産業・彦根仏壇の試み―

彦根市には、数多くの産業があります。その中でも、彦根市の伝統的な地場産業として、バルブ・ファンデーション(下着)・仏壇の3つの産業があります。これら3つの産業は、それぞれに歴史があり、彦根市の発展に大きく貢献してきました。

今回は、彦根市の地場産業から、「彦根仏壇」についてお伝えします。「彦根仏壇」は、経済産業大臣の産地指定を受けている伝統的工芸品です。そのなかでは、伝統的な技術が大切に受け継がれてきました。

これに加えて、最近では、伝統的技術を使ったこれまでにない取組も始まっています。

問い合わせ先 商工課 30-6119番、FAX 22-1398番

地場産業 地元資本による中小企業群が一定の地域に集中的に立地している産業

彦根の歴史と風土で生まれた 伝統を誇る仏壇

彦根仏壇は、歴史と伝統のある、この地で生まれ、育まれてきました。彦根仏壇の起源は、江戸時代中期ごろとされています。武器、武器の製作に携わっていた武具師、細工師、漆工などが、戦国時代が終わり大規模な戦争がなくなると、武具の製造では、生計が成り立たなくなり、その技術を活かし、仏壇製造に転向したのが、始まりといわれています。また、江戸時代に、幕府によるキリシタン宗門の禁止政策によって、異教徒でない証拠として、家庭に仏壇を置くことが一般的になりました。それに加えて、彦根藩主が仏壇業を保護したため、問屋が、分散していた家内工業者に、原料や労働手段を前貸しして生産を行わせる問屋制家内工業と、それに伴う分業組織



▲一つひとつ手作りされる彦根仏壇



▲現在の仏壇通り

が形作られました。このような経緯で、彦根の城下町と中山道を通り、人・物・情報が行き交う重要な地点である通称「七曲がり」(現在の新町〜大橋町)に新しい産業として、仏壇製造業が興ったと考えられています。

その後、明治維新による混乱などの影響を受けましたが、明治36年(1903)には、彦根仏壇同業組合が結成され、昭和49年(1974)には、彦根仏壇事業協同組合が設立されました。組合は、製品の検査制度を設けるなど、品質の向上に努め、販路を拡大したことから、生産地域も彦根市全域に広がり、彦根の地場産業の一つとして大きく飛躍し、現在に至っています。

伝統的工芸品の産地指定

彦根仏壇は、長い間に培われた独自の技法と品質の良さが認められ、昭和50年に、通商産業大臣(現在の経済産業大臣)による伝統的工芸品の産地指定を受けました。伝統的工芸品とは、経済産業大臣が指定するもので、次のような要件があります。

- ▼主に日常生活に使われている
- ▼製造過程の主要部分が手工業である
- ▼伝統的技術、または技法によって作られる

▼伝統的に使用されてきた原材料が使われている

▼一定の地域で産地形成されている

▼100年以上の歴史・10企業以上の集積または、30人以上の従事者をもっている

彦根仏壇は、昭和50年に、仏壇業界としては、国内で初めて伝統的工芸品の指定を受けました。県内ではほかに伝統的工芸品の指定を受けているのは、近江上布(織物)、信楽焼(陶磁器)だけです。

「彦根仏壇」以外の地場産業

バルブ

私たちの生活に一番身近なバルブは水道の蛇口です。ほかにも、上下水道や船舶、ビルの配管などに、バルブは幅広く使用されています。見えないところに設置されていることも多いため、普段はあまり見かけませんが、バルブは私たちの生活には欠かせません。

彦根バルブの歴史は古く、明治の中期に製造が始まり、その後、近代的な経営とともに、県内では最大規模の地場産業が形成されました。

ファンデーション(下着)

彦根では、もともと足袋が作られていました。戦後の洋装化とストッキングの登場により、産業が低迷したなかで、「ミシンを踏める人がたくさんいるのだから、何かできるはず」と考え、選ばれたのが、日本では初めてのブラジャーの生産でした。当初、ほとんどが国内向けの生産をしていましたが、海外への輸出増加によって発展しました。



▲従来の彦根仏壇(右)と、開発されたミニ仏壇の六華壇(左)

彦根仏壇を作る、7つの専門職

彦根仏壇は、「工部七職」といわれ、7部門の専門職と、組立の8つの工程を必要とします。一つひとつの部品を手作業で作られ、一つの工程の職人から、次の工程の職人へと手渡しして一つの仏壇へと仕上げられます。

仏壇を製造する7つの専門職とは、木地師・宮殿師・彫刻師・銚金具師・漆塗師・蒔絵師・金箔押し師です。七職と呼ばれるこれら専門

の職人が、古くから受け継いだ伝統の技を使って、彦根仏壇を構成する各部品を作ります。

彦根仏壇は、注文に合わせて、手作業で作られます。したがって、どれ一つとして同じものがない工芸品です。また、各工程ごとに、丹精を込めて作られるため、完成するまでに長い時間がかかります。

一つの仏壇が完成するまでには、約3か月かかります。また、大きい

仏壇になると、完成までに、約半年もかかるものもあります。彦根仏壇仏壇ができるまでの8つの作業工程を、この下で、写真を交えて紹介いたします。



古き伝統を生かした、未来の彦根仏壇へ

彦根仏壇に携わる人が、伝統を守ってきたことはいうまでもありません。そして、彦根仏壇事業協同組合では、今の時代にも合った仏壇を作るといふ試みもしています。

最近では、仏壇がない住宅が増えています。こうした住宅でも設置ができる団地サイズの仏壇を作ったり、洋間に設置する人のために、扉を閉じると、洋棚のようになる仏壇を作ったりするなど、さまざまな試みがなされています。

また、同組合青年部では、新都市型ミニ仏壇のデザイン開発に取り組

み、最近の住宅事情に合わせて、専門家の指導を得ながら、収納しやすく、コンパクトでありながら高級感あふれる新都市型ミニ仏壇「六華壇」を開発しました(2ページ写真)。

六華壇は、六角形に収納できる形式となっていて、開いた場合、高さ30cm、奥行き34cm、幅34cm。従来の仏壇とは、全く違ったデザインになっています。六華壇は、平成9年に、伝統的工芸品産業振興協会による全国伝統的工芸品コンクールで入選しました。

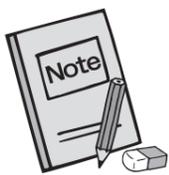
また、最近では、仏壇作りで培っ

た技術を生かして、木製漆塗りのアタッシェケースを作るなど、彦根仏壇の新しい可能性に向けた取り組みを進めています。



▲木製漆塗りのアタッシェケース

中学生が見た彦根仏壇



榎本陽介さん、加納司さん(東中学校2年)
辰野裕樹さん(中央中学校2年)

私たちは、市役所で職場体験をしました。情報政策課では、広報ひこねの特集記事の取材を体験しました。私たち3人が、彦根仏壇工部七職の一つである金箔押し職人の宮本美弘さん取材しました。

最初は、緊張して何を質問すればいいか迷いました。しかし、宮本さんが丁寧に答えてくださったので、たくさん質問できました。また、これまであまり知らなかった彦根仏壇について勉強することができ、とても貴重な体験となりました。

取材が終わった後、砂時計に金箔を貼る体験をさせていただきました。宮本さんの作業を見てみると、簡単そうに感じましたが、やってみると難しくなりました。今回の体験で、仏壇作りの難しさが見ることができ、金箔などを見るだけでなく、触ることができ、素晴らしい体験ができました。最後に、彦根仏壇について、宮本さんから聞き出したことを紹介したいと思います。

問 出来上がった仏壇が、伝統的工芸品に認定されるには、どうすればいいのですか？

答 伝統的工芸品検査基準に基づいて、検査が行なわれ、検査に合格すると、伝統証紙が手渡されて、伝統的工芸品に認定されます。



▲金箔押しの体験をする中学生

問 仏壇の重さは何くらいありますか？

答 量ったことはありませんが、大人4人で持ち上げられる重さです。200kg位だと思います。

問 なぜ、仏壇には檜や杉の木を使うのですか？

答 昔からある素材であることと、丈夫で、仏壇の材料として適しているからです。

問 仏壇に漆を塗ると、どうして長もちするのですか？

答 漆は生きていて、つやも変わります。また、熱に対して強いからです。

彦根仏壇ができるまで



木地 厳選された木材で、仏壇の本体を作ります。仏壇作りの最初であり、大切な仕事です。



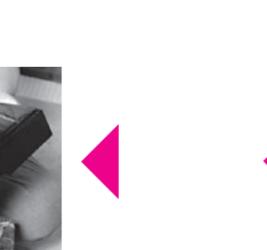
宮殿 円柱状の柱から、屋根の瓦に至るまでの小さな木片を膠付けしながら、屋根や柱を作ります。



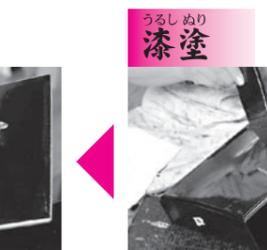
彫刻 装飾部に花や羅漢、家紋などを彫り上げて仏壇を飾ります。ひのきなどの木材に、のみや小刀などで手彫りします。



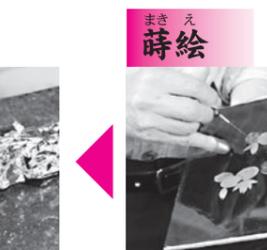
銚金具 多彩な技を駆使し、仏壇の装飾金具を作ります。金・銀・銅などを使って、手加工で彫金します。



漆塗 形作られた木地の上に、下地・中塗り・上塗りの順に、何段も漆を塗り重ね、耐久性を高めます。



蒔絵 花鳥などの蒔絵を施します。漆などで下絵を描き、その上に金粉・銀粉などを蒔き、さらに加筆して仕上げます。



金箔押 内装に金箔を施します。大きなものになると、使用する金箔は、千枚以上になります。



組立 各工程で完成した部品を集め、必要な場所に金具を打ちながら組み立てていきます。



施設だより

ひこね市文化プラザ ☎26-8601 FAX 26-8602
8月の休館日：6月・13月・20月・27月

8月18日(土)・19日(日)

サマーフェスティバル

☆内容：中国湘潭市児童芸術団公演、ダンスフェスティバル、歌声喫茶、ガラス工芸、夏の思い出コンサート、科学コーナー、創作遊び体験広場、天体観望会、文化プラザ施設見学会 ほか
☆詳しくは、「広報ひこね」6月1日号をご覧ください。

8月19日(日) 13:30～

お楽しみコンサート「夏の思い出コンサート」

☆内容：滋賀の民族楽器とも言えるよし笛による、やさしく、素朴な音のコンサート！よし笛工作コーナーもあります!!
☆出演：日本よし笛協会 【鑑賞無料】

10月7日(日) 13:30～

お楽しみコンサート「芸術の秋」

☆内容：迫力のあるキーボードオーケストラの演奏と、映像を交えた音楽物語など、盛りだくさんの内容でお楽しみいただけます。
☆出演：キーボードオーケストラ楽 【鑑賞無料】

10月12日(金) 18:30～

市民に贈る「吹奏楽の夕べ」 フリヂストーン吹奏楽団久留米 演奏会

自由 入場無料(ただし入場整理券が必要です。)
【9月6日(木)入場整理券配布開始】
※枚数制限あり(お一人様2枚まで)
<入場整理券配布場所>
ひこね市文化プラザチケットセンター
彦根市民会館、みずほ文化センター

10月20日(土) 18:30～

スカイウォッチャー演奏会

☆天体観望と音楽を楽しむロマンチックコンサート!!
自由 シングル券200円 ペア券300円
【8月12日(日)発売開始】

11月10日(土) 19:00～

アリス = 紗良・オット ピアノリサイタル

自由 3,000円
【8月19日(日)発売開始】



ひこね市民大学講座

第2講

9月22日(土) 14:00～
「片目を失って見えてきたもの」
ピーコさん(ファッションジャーナリスト、タレント、シャンソン歌手)

第3講

10月13日(土) 14:00～
「21世紀の提言～新しい世代を育てる～」
金美齢さん(JET日本語学校理事長、評論家)
☆料金：全席自由 4,000円 【好評発売中】
※1講座のみの購入はできません。
※未就学児の入場はお断りします。

マーク：託児サービスがあります。(要予約)
※公演日の1週間前までにご予約ください。
マーク：公演終了後、彦根駅行き・南彦根駅行き(各直行)の臨時バスの便があります。

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200

彦根城博物館 ☎22-6100 FAX 22-6520
8月に休館日はありません。

入館受付時間 8:30～17:30

※築城400年祭開催期間中は、開館時間を上記のとおり延長します。
なお、8月21日(火)～同24日(金)は展示替え作業のため、入館受付は17:00までとさせていただきます。

百景線 - 彦根歴史絵巻 -

8月24日(土)まで

巻の5 親子で楽しむ

「一期一会 - 井伊直弼の茶の湯 -」

幕末の大名茶人として知られる、13代藩主井伊直弼。ゆかりの茶道具や著作を通して、直弼の茶の湯の神髄を究めます。



黒漆塗栗山桶水指 ▶

8月25日(土)～9月27日(木)

巻の6 「幽玄 - 井伊家伝来・能面と能装束の名品 -」

井伊家伝来の能面・能装束は、演能に必要なほとんどの種類を網羅する大揃い。この中から、選りすぐりの逸品を一堂に会します。



▲能装束 翁狩衣 (茶地斜め竹格子鳳凰丸桐菊寿字文様)

観覧料が必要です

親子でギャラリートーク 夏休み特別企画

「一期一会 - 井伊直弼の茶の湯 -」

8月11日(土)・18日(土) 14:00～15:00
解説：本館学芸員 小井川 理(こいかわ り)

ギャラリートーク

「幽玄 - 井伊家伝来・能面と能装束の名品 -」

8月25日(土) 14:00～15:00
解説：本館学芸員 高木文恵(たかき ふみえ)
※事前申込は不要です。当日館内講堂にお集まりください。

ほんものとの出会い - 徳川譜代大名筆頭・井伊家伝来の名宝 -

譜代大名筆頭・井伊家に伝来した大名道具を中心に、日本の美と歴史にせまります。

市民体育センター ☎23-2293 FAX 23-2294
8月の休館日：7(火)・14(火)・21(火)・28(火)

10月28日(日) 14:30～

デューク更家 からだリセットウォーキング塾

自由 500円(小学生以上) 【8月4日(土)発売開始】

※必ず上靴をご持参ください。
※託児サービスがあります。(開催日の1週間前までに要予約、定員になり次第締切)

チケット販売所

ピバシティ彦根 ぐらしのサービスセンター
アル・プラザ彦根 ぐらしのサービスセンター
ひこね市文化プラザ チケットセンター
市民体育センター



▲デューク更家

9月以降



▶ 唐織 紅頭葱茶段流水に菊文様

「能装束のような」といえば、「きりぎりやか」「はなやか」「あでやか」といった形容詞が思い浮かびます。豊かな色彩や人目を引くデザインは、芸能の衣裳の本質ともいえますが、一口に能装束といっても、すべてが豪華なわけではありません。色彩や金をふんだんに使って文様を表すものから、その対極

に位置する縞や格子、無地まで幅広くあります。能装束は豪華、というイメージは、主に女優に使う「唐織」の存在感が大きいためでしょう。唐織は、室町時代には唐織物、すなわち唐(中国)から渡ってきた織物を指す言葉でした。高価な輸入品のため、将軍家や身分の高い貴族など、ごく限られた特権階級しか享受できませんでした。そして、この舶載品の唐織は、当時流行の芸能、能と結びつきます。演能のとき、着ている唐織の小袖を脱ぎ、褒美として演者に与える「小袖脱ぎ」が行われたのです。例えば寛正5年(1464)に京都(今)河原で行われた勸進申楽。将軍足利義政と夫人日野富子をはじめ、多くの人々が参集しました。ここでは小袖脱ぎが大々的に行われ、初日には将軍着用の御服をはじめ83領、2日目は御服のほかに91領、3日目は御服のほかに63領、この250

領近くを数えました。こうした小袖脱ぎによって演者に与えられた中国渡りの織物か、能の装束に転用されたと考えられています。やがて、日本でも織物の技術が発達し、綾地に多彩な色糸で文様を織り出す技術が確立され、これを唐織と呼ぶようになりました。初期には文様を並べて配するだけの単純な構成でしたが、江戸時代初期には、地文様と上文様の区別がつけられるようになり、デザインの幅がぐんと広がりました。たいへん手の込んだ織物で、文様を緯糸で浮織りすることで、ふっくらした厚みが出るので、まるで刺繍のように見えます。さらに金糸を織り込むことで重厚さが増します。能装束の唐織は、日本で作られるようになった唐織組織の織物で作った装束のことです。そこに表される文様も日本風の優美な和様文様となりました。女役に使う唐織ですが、現代の和服と同じように、色づかいや文様でその印象はすいぶん異なります。その鍵を握るのは「紅」。能装束では

「いろ」といえば紅を指します。紅色が入った華やかな装束は紅入と呼んで若い女優に、紅色の入らない無紅は、中年以上の女優や靈性を帯びた役どころに用います。

写真の唐織は、井伊家伝来品のなかでも、最も魅力にあふれる紅入の一品です。江戸時代後期の制作で、地色は紅と萌葱と濃茶の3色。水の流れを金糸であらわし、上文様は菊の折枝で全面を埋め尽くします。色糸は白、紅、萌葱(緑)、二種の浅葱(青)、紫、黄土、白茶・・・豊富。宝

石箱をひっくり返したような賑やかさがあがりながら、調和を乱すことなくまとめられています。優しさと華やかさを合わせ持った洗練された一品といえます。

写真の作品は、8月25日(土)～9月27日(木)に開催される、国宝・彦根城築城400年記念特別企画展「百花繚乱」彦根歴史絵巻「巻の6」幽玄―井伊家伝来・能面と能装束の名品」で展示します。

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ



第132回

第21回 彦根シティマラソン

日時 11月18日(日) ※雨天決行
 9:26スタート(10km・5km部門)
 9:30スタート(3km・ペア部門)

会場 県立彦根総合運動場多目的広場、周辺道路
 部門および参加料

距離	種目(部門)	参加料
3km	1部 小学生男子(3~6年生)	1,000円
	2部 小学生女子(3~6年生)	1,000円
	3部 中学生女子	1,000円
	4部 一般女子(高校生以上)	2,200円
	5部 親子ペア(子どもは小学生に限る)	2,200円
	6部 ペア(中学生以上)	3,300円
5km	7部 中学生男子	1,000円
	8部 一般男子(高校生以上)	2,200円
	9部 一般女子(高校生以上)	2,200円
10km	10部 一般男子(高校生~満39歳以下)	2,200円
	11部 一般男子(満40歳以上)	2,200円
	12部 一般女子(高校生以上)	2,200円
	13部 車イス(高校生以上)	2,200円

※10部、11部は大会当日の年齢とします

募集定員 2,500人

申込方法 申込用紙(園教育委員会事務局、市役所1階受付、支所・各出張所、市民体育センター、各地区公民館、市内郵便局にあります)に必要事項を記入し、参加料を添えて郵便局で手続きしてください。

申込期限 9月28日(金)(消印有効)

ゲスト ひこにゃん

問い合わせ先 彦根シティマラソン実行委員会事務局(園教育委員会保健体育課内) ☎22-8871 (FAX共用)



毎年多くの人参加する彦根シティマラソン

市職員を募集します

職種・人員	受験資格	受付期間・試験日など
初級・消防 3人	昭和56年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人	受付期間 8月20日(月)~9月4日(火)(土・日曜日は除く)の8:30~17:15 ※郵送の場合は9月4日(火)の消印有効 試験日 9月16日(日) 問い合わせ先 園人事課 ☎30-6106、FAX22-1398

子育て講座 子どものしあわせは親の笑顔から

〈内容〉子育て中の保護者を対象に、子どもとどのように接すればいいのか、講演を通じていっしょに考えましょう。
 〈講師〉岡田さよ子さん(教育・子育てコーディネーター) 〈日時〉9月6日(木)10:00~12:00 〈場所〉子どもセンター(日夏町) 〈対象〉就園前の子どもの保護者 〈定員〉50人(先着順) 〈受講料〉無料 〈その他〉託児あり(先着25人) 〈申込期間〉8月24日(金)の8:30~17:15(土・日曜日は除く) 〈申込・問い合わせ先〉園子どもセンター ☎28-1580 (FAX共用)

彦根市高齢者保健福祉協議会委員

〈内容〉彦根市では、市の高齢者の保健・福祉施策について、市民の意見を反映させるため、高齢者保健福祉協議会を設置しています。協議会は1年に5回程度開催します。幅広い年代の市民の意見を反映させるため、協議会に出席して意見を述べていただく委員を募集します。〈任期〉10月~平成22年9月まで(3年間) 〈応募資格と募集人数〉▶65歳以上の市民(2人)、▶40歳以上65歳未満の市民(1人)、▶20歳以上40歳未満の市民(1人) ※応募者多数の場合は選考 〈応募期限〉8月31日(金)(郵送の場合は消印有効) 〈応募方法〉住所、氏名、生年月日、電話番号、応募の動機(200字程度)を書いて、郵送、ファクス、またはEメールで申し込んでください。〈応募・問い合わせ先〉園介護福祉課(〒522-0041 平田町670) ☎23-9660、FAX26-1768、Eメール: kaigo@mx.biwa.ne.jp

じんけんフェスタしが2007「県民かがやきステージ」出演者

〈内容〉すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を目指して開催される、「じんけんフェスタしが2007」の「県民かがやきステージ」の出演者を募集します。〈日時〉9月15日(土)13:00~15:00 〈場所〉ひこね市文化プラザ 野外特設ステージ(野瀬町) 〈内容〉歌、楽器演奏、ダンスなど ※1ステージ約20分(準備も含む) 〈応募資格〉県内に在住、在勤、在学する人、または団体 〈募集組(人)数〉5組程度 〈参加料〉無料 〈応募方法〉発表内容、出演人数、代表者の氏名、住所、電話番号を書いて、はがき、ファクス、Eメールで申し込んでください 〈応募期限〉8月8日(木)17:00(必着) 〈応募・問い合わせ先〉園人権施策推進課(〒520-8577 滋賀県庁内) ☎077-528-3534、FAX077-528-4852、Eメール: cf00@pref.shiga.lg.jp

「新成人のつどい」実行委員

今年度新成人となるあなた、平成20年1月13日(日)にひこね市文化プラザで開催される「新成人のつどい」の企画・運営をしてみませんか。きっと大きな感動があるはずです。〈活動内容〉実行委員会に参加して祝賀記念交歓会の内容の企画や、当日の運営をしていただきます 〈活動日〉10月~12月に5回程度実行委員会を開催 〈申込資格〉今年度新成人となる人(昭和62年4月2日~同63年4月1日に生まれた人)で活動意欲のある青年 〈申込期限〉8月31日(金) 〈申込・問い合わせ先〉園教育委員会生涯学習課 ☎24-7971、FAX23-9190



▲多くの新成人が参加する新成人のつどい

小江戸彦根の城まつり にぎわい市出店者

〈内容〉城まつり事業の一つとして実施する「小江戸彦根のにぎわい市(フリーマーケット)」への出店者を募集します。〈開催期間〉11月1日(木)~同4日(日)(飲食物の販売は11月2日(金)~同4日(日)) 〈場所〉ひこね市文化プラザ(野瀬町) 〈申込条件〉市内在住の個人もしくは団体(公共機関を除く)で、営利を目的としないもの 〈参加協賛金〉1ブースあたり5,000円 〈申込期限〉8月24日(金)17:15 〈申込・問い合わせ先〉にぎわい市事務局(園商工課内) ☎30-6119、FAX24-9676

平成20年歌会始

〈平成20年歌会始のお題〉「火」 〈詠進要領〉①半紙(習字用)を横長に使い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、ふりがな)、生年月日、職業を縦書きで、毛筆で自書してください。②病気や身体障害のため自書することができない場合は、代筆またはワープロやパソコンなど機器を用いて、また、視覚障害の人は、点字により詠進することもできます。 ※代筆の場合は、別紙に代筆の理由、代筆者の住所・氏名を、ワープロなどの場合は機器を使用した理由を、それぞれ別紙に書いて、詠進歌に添えてください。〈その他〉次の場合には、詠進歌は失格となります。①お題を詠み込んでいない場合 ②1人で2首以上詠進した場合 ③詠進歌が既に発表された短歌と同一または著しく類似した短歌である場合 ④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物、年賀状などにより発表した場合 ⑤詠進要領の②に記した代筆の理由書を添えた場合を除き、同筆と認められるすべての詠進歌 ⑥住所、氏名、生年月日、職業を書いてないもの、そのほかこの詠進要領によらない場合 〈詠進の期限〉9月30日(日)(当日消印有効) 〈応募・問い合わせ先〉宮内庁(〒100-8111) ▶封筒に「詠進歌」と書き添えてください。▶詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えありません。宮内庁ホームページ: http://www.kunaicho.go.jp/12/d12-08.html

危険物取扱者試験(乙種第4類)受験者のための予備講習会

〈日時〉9月15日(土)9:00~17:00 〈場所〉園消防本部(西今町) 〈定員〉72人(先着順) 〈受講料〉5,000円 〈テキスト代〉3,700円 〈申込期間〉8月20日(月)~9月14日(金)(土・日曜日は除く)の8:30~17:15 〈申込・問い合わせ先〉彦根防火保安協会事務局(園消防本部予防課内) ☎22-0332、FAX22-9427

彦根城樹木ウォッチング(秋) オニバス観察会

〈内容〉彦根城の樹木と、堀に生息するオニバスを観察します。 〈日時〉8月26日(日)9:00~12:00(天候により中止になることがあります) 〈集合場所〉彦根城黒門(8:50までに集合) 〈参加費〉無料 〈申込・問い合わせ先〉快適環境づくりをすすめる会事務局(園生活環境課内) ☎30-6116、FAX27-0395

俳遊館 俳句作品募集

〈投句の決まり〉四季を通じての「雑詠」で、自作、未発表のものを1人につき3句以内 〈投句方法〉はがき1枚に3句以内を楷書で書き、はがき表面の差出人欄に、郵便番号、住所(ふりがな)、名前(ふりがな)、俳号(ふりがな)、電話番号、中学生以下は学校名(ふりがな)・学年を書いてください。 〈投句料〉無料 〈募集期間〉8月13日(月)~9月30日(日)(消印有効) 〈賞〉「一般の部」「小・中学生の部」について、各選者が、特選3句、入選15句を選定します。入賞者には記念品と入選句集を贈り、入賞作品を俳遊館で展示します(応募者で希望する人には、入選句集を俳遊館でお渡しします) 〈その他〉ほかの俳句誌などへの二重投句や類想句、類似句が判明した場合は、発表後でも入選を取り消します 〈選者〉柿本多映、寺村滋、成宮紫水、野瀬草子(五十音順、敬称略) 〈応募・問い合わせ先〉園俳遊館(〒522-0064 本町一丁目3-24) ☎22-6849 (FAX共用) ※火曜日は休館です

第27回全国豊かな海づくり大会~びわ湖大会~式典行事公募招待者

〈内容〉大津市で開催される「第27回全国豊かな海づくり大会~びわ湖大会~」式典行事への招待者を募集します。 〈日時〉11月11日(日)9:00~(受付は7:30~) 〈場所〉県立芸術劇場 びわ湖ホール(大津市) 〈対象〉県内に居住する小学生以上の人 ※小・中学生は保護者の同伴が必要です 〈募集人数〉100人程度(応募者多数の場合は抽選) 〈応募期限〉8月31日(金)(必着) 〈応募方法〉郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書いて、はがき、ファクス、Eメール、または、「しがネット受付サービス」で申し込んでください。 ※保護者が同伴する場合は、保護者の住所なども記入してください。 〈その他〉1回につき申込できるのは1人のみです。また、申込は一人1回限りです。 〈応募・問い合わせ先〉同大会滋賀県実行委員会事務局公募招待者係(〒520-8577 滋賀県庁内) ☎077-528-3881、FAX077-528-4899、Eメール: umizukuri@pref.shiga.lg.jp、同大会ホームページ: http://www.pref.shiga.jp/g/umizukuri/

Ponte Le Vanga 2007
チャレンジショップひこね

彦根TMO事業推進協議会(彦根商工会議所内)では、市内の中心市街地商店街の空き店舗などを利用して、商店街の活性化を目的とした、チャレンジショップ事業を展開しています。

今回新たに次の2つの店舗がオープンしました。市民の皆さんもぜひご利用ください。

直火焙煎珈琲豆店「ビーンズCB」

オリジナルのブレンド珈琲豆「スタンダード」シリーズのほか、世界中の珍しいコーヒーを取り寄せる、「世界の珈琲めぐり」を毎月開催しています。

場所 京町三丁目(おいでやす商店街京町交差点付近)
営業時間 10:00～18:00

彦根らぼとりい社

学生や、地場産業と連携した商品を扱っています。築城400年祭のキャラクター「ひこにゃん」や、「しまさこにゃん」のグッズなどもそろえています。

場所 本町一丁目(四番町スクエア内)
営業時間 11:00～16:00

「チャレンジショップひこね」についての問い合わせ先
彦根TMO事業推進協議会(彦根商工会議所内) ☎22-4551、FAX26-2730、ホームページ: http://www.hikone-cci.or.jp/hikone-tmo/

夏休みは、彦根城博物館へ行こう!

● はくぶつかん相談室

日本の歴史や美術についての疑問に、専門の学芸員がお答えします。

日時 8月4日(土)、同19日(日)
10:00～16:00(2日とも)

対象 小・中学生、高校生
場所 彦根城博物館ロビー

参加費 無料(当日受付にお申し出ください。)

● 夏休み特別企画 体験コーナー

「飾り結び」「紋切り」「貝合わせ」を知っていますか。実際に体験して、日本の文化を楽しみましょう。

日時 ～8月19日(日)(期間中毎日開催)
10:00～12:00、13:00～15:00

場所 彦根城博物館能舞台脇見所 特設会場

参加費 無料(ただし、博物館の観覧料が必要です)

その他 子どもに限らず、だれでも参加できます。
問い合わせ先 彦根城博物館 ☎22-6100、FAX22-6520



築城400年祭

～8月の行事予定～

※「日時」「期間」のない行事は、8月を通して開催されます

● 特別展「井伊家十四代物語」

徳川四天王のひとり、井伊直政や、日本を開国へ導いた、大老井伊直弼など、彦根藩の歴代藩主や彦根城の歴史を紹介します。

場所 開国記念館

● 特別展「彦根と北近江の城」

北近江の城を、写真や古地図などのパネル展示で紹介いたします。

期間 ～8月26日(日)

場所 西の丸三重櫓

● 特別展『レゴ』で作った世界遺産展

世界中で愛されているレゴブロックで作った世界遺産の作品を、夏休み期間に合わせて紹介します。

期間 ～9月2日(日)

場所 天秤櫓

● 特別展「彦根城を世界遺産に」

場所 太鼓門櫓

● 彦根サウンドラリー2007

彦根城を見上げる野外ステージや、彦根城博物館能舞台を会場に、11月まで5回にわたって、さまざまなジャンルのコンサートを開催します。

1回目 晩夏に聴くJAZZライブ

日時 8月31日(金) 18:30～

場所 金亀公園野外ステージ

※チケットの購入方法は10ページをご覧ください。

● 彦根まちなか博物館

書家日下部鳴鶴の書や、近江鉄道の歴史資料など、彦根にまつわる宝物を展示する博物館です。

内容・場所

日下部鳴鶴コレクション(アル・プラザ彦根3階)

近江鉄道コレクション(アル・プラザ彦根3階)

近江鉄道ミュージアム(近江鉄道彦根駅構内)

高橋狗佛・彦根の引札コレクション(夢京橋あかり館)

● 江州音頭フェスタ in ひこね

日時 8月25日(土) 13:30～

場所 金亀公園運動施設多目的競技場

にぎわい広場開催中!

場所 二の丸駐車場

広場内の「彦根ええもん物産館」では、彦根の物産品を販売しています。ぜひお立ち寄りください。



主催事業

協賛事業



チケット販売開始
彦根サウンドラリー2007



彦根城を見上げる野外ステージや、彦根城博物館能舞台を会場に、5回にわたってさまざまなジャンルのコンサートを開催します。

1回目 彦根サウンドラリー2007
晩夏に聴くJAZZライブ

出演 小曾根実、パパバンド

日時 8月31日(金) 午後6時30分

場所 金亀公園野外ステージ

入場料 無料

定員 約400人

申込方法 往復はがきの往信の裏面に、郵便番号、住所、名前、電話番号を、返信の表面に郵便番号、住所、名前を書いて、NHK大津放送局「彦根サウンドラリー2007」係(〒520-0806)まで申し込んでください。

参加者募集

佐和山一夜城復元プロジェクト

佐和山歴史講座

佐和山一夜城復元プロジェクトでは、佐和山の歴史に関する講演会を開催します。

日時 9月1日(土)、同9日(日)、同16日(日)

午後3時30分～同5時(3日とも)

場所 井伊家菩提寺 清涼寺坐禅堂1階講堂(古沢町)

参加料 無料 ※ただし、資料代として各講座2000円が必要です。

定員 200人(事前申込が必要です)

講師 小和田哲男さん(静岡大学教育学部教授)

9月1日(土) 同9日(日)

同16日(日) 谷口徹さん(米原市教育委員会)

申込・問い合わせ先 彦根商工会議所青年部 ☎22-4551番、FAX26-2730番



400年祭でみつけた!

8月の人 清水紀子さん、果穂さん、陵平さん(東沼波町)



▲約350人が参加したペイント大会

郷土の歴史に触れる機会になればと思い、二人の子どもといっしょに、7月16日に開催された、佐和山一夜城復元プロジェクトのペイント大会に参加しました。参加者が、縦約1.8メートル、横0.9メートルのペニヤ板に、色を塗るイベントです。自分たちが塗った板だけを見て何が描いてあるか分かりませんが、この日塗られた約100枚のペニヤ板を合わせると、大きな佐和山城天守の絵になります(表紙写真)。

「歴史」というと難しい感じもしますが、楽しみながら佐和山城について知ることができるとても楽しい体験でした。9月には、高さ約18メートル、幅約13メートルの佐和山城が、佐和山のふもとでライトアップされると聞いています。私たちも、自分たちが描いた佐和山城を見に行こうと思います。

築城400年祭の問い合わせ先 国宝・彦根城築城400年祭実行委員会(彦根城築城400年祭推進室内) ☎30-6141番、FAX22-1398番

皆さんの地域にでかけます
認知症を知る出前講座

市介護福祉課

現在、全国で約170万人が認知症という病気にかかっています。2015年には、250万人になると予想されています。これは、85歳以上の人口の4人に1人の割合になります。

認知症は、だれにでも起こる可能性のある脳の病気です。彦根市では、認知症について理解し、認知症の人や、その家族の応援者となる「認知症サポーター」を地域で増やすことを目的として、出前講座を開催しています。

市内に事業所のある企業や自

治会など、依頼のあった団体へ講師（キャラバン・メイト）が出向き、1時間から1時間30分程度の講座を開催します。

開催を希望する団体は、開催を希望する日の1か月前までに市介護福祉課までお申し込みください。

問い合わせ先 市介護福祉課
☎23-90600番、FAX26-1768番

口のなかも元気に！
いきいき健口教室

市介護福祉課

「最近、硬いものがたべにくくなった」「むせやすくなった」と感じることはありませんか。



口のなかも元気に！
いきいき健口教室

10月1日から
乳幼児福祉医療費助成制度の
所得制限をなくします

彦根市の乳幼児福祉医療費助成制度が変わります。今回の改正によって、市内に住民登録のある全ての乳幼児が助成制度の対象になります。昨年度、所得制限のため、助成対象とならなかった人で、まだ受給申請をしていない人は、受給申請をしてください。

今回の改正で、対象となる人には申請書と調書を送付します。届かない場合はお問い合わせください。

今回の改正点

所得制限の撤廃

※保護者の所得が、滋賀県が定める所得制限額を超えた場合にも、彦根市独自の制度により医療助成を行います。

申請期間 8月1日(水)~同17日(金)

申請窓口 市保険年金課、支所、各出張所

申請に必要なもの・申請書、調書、健康保険証、印鑑、所得証明（今年の1月1日の時点で、彦根市に住民登録があった人は必要ありません）

問い合わせ先 市保険年金課☎30-6112、FAX22-1398

農家の皆さん、
稲わらは焼かず
土に鋤き込みましょう

市農林水産課

食の安全性や、環境問題への関心が高まり、化学肥料や農薬の使用を減らした、環境にやさしい農業が求められています。そのためには、まず土づくりが重要です。土づくりには、有機物の施用・深耕・土づくり資材の施用などの方法があります。なかでも有機物の施用は、土中の環境の改善に有効です。

水稲は、ケイ酸を多量に吸収します。稲わらを鋤き込むと、水稲作付けで失われたケイ酸などの成分を補給し、地力を回復させることができます。最近では、水田に有機物を施用することが非常に減ってきていますので、水田の地力維持のためにも、稲わらやもみ殻は焼かず鋤き込みましょう。

また、稲わらやもみ殻を焼くと、煙により周辺住宅の環境や道路の通行に支障をきたし、二次災害のおそれもあります。野焼きは絶対に避けましょう。

就学義務猶予免除者等の
中学校卒業程度認定試験

市教育委員会学校教育課
受験資格 次の①～④のいずれかに該当する人

- ①就学義務猶予免除者または就学義務猶予免除者だった人で、平成20年3月31日までに満15歳に達する人
- ②保護者が就学させる義務の猶予または免除を受けず、平成20年3月31日までに満15歳に達する人で、その年度の終わりにまでに中学校を卒業できないと見込まれることについて、やむを得ない理由がある
- ③平成20年3月31日までに満16歳以上になる人
- ④日本国籍を有しない人で、平成20年3月31日までに満15歳以上になる人

試験日 11月5日(月)
試験科目 国語、社会、数学、理科、外国語(英語)
試験会場 園大津合同庁舎 6A会議室(大津市)
願書受付期間 8月24日(金)～9月11日(火)(郵送の場合は9月11日(火)の消印有効)
問い合わせ先 市教育委員会学校教育課☎077-5281-4576番

建物を新築・増築した皆さん
固定資産税の家屋調査に
ご協力を

市 税 務 課

住宅、事務所、店舗など、建物を新築・増築すると、その建物には固定資産税(市街化区域内では固定資産税と都市計画税)が新たに課税されます。

この固定資産税の税額の基礎となる建物の評価額を算出するため、市税務課の職員が建物の調査に伺います。調査では、建物の外観とともに、すべての部屋を拝見します。必ず建築主か、家族のどなたかが立ち会ってください。調査に要する時間は、30分から1時間程度です。調査の際に、建物の平面図・立面図などの図面や、仕様・設計書、建築確認申請書などをご用意いただくと、より正確で短時間の調査ができます。

留守がちなお宅は、事前に都合のよい日をお知らせください。調査日時を調整いたします。

また、以前から課税されている建物を取り壊したときなどは、必ず届け出てください。

問い合わせ先 市税務課資産税係☎30-61338番、FAX22-30522番

児童扶養手当 特別児童扶養手当
今年の手続きをしよう

市子育て支援課

児童扶養手当は母子家庭などに、特別児童扶養手当は障害児のいる家庭などに、生活の安定と自立を促進するために支給される手当です。これらの手当を受けている人(現在支給停止になっている人も含む)は、それぞれ「現況届」「所得状況届」を期間内に必ず提出してください。この届を2年間提出しないと、支給資格がなくなります。

提出期間

▼児童扶養手当 8月1日(水)～同31日(金)

▼特別児童扶養手当 8月13日(月)～9月10日(月)

提出・問い合わせ先

市子育て支援課(平田町)☎23-9590番、FAX26-1768番

応援します 母子家庭・父子家庭

—ひとり親家庭の支援制度をご利用ください—

困ったときの相談	子育ての問題や悩みについて、家庭児童相談員が相談に応じます。また、母子家庭について、子育て支援課の母子自立支援員や各地域の母子福祉推進員が各種の相談に応じます。	市子ども青少年課、市子育て支援課 ☎23-9590、FAX26-1768 市家庭児童相談室 ☎23-7838
自立支援教育訓練補助金	母子家庭の人が、安定した就労のために、資格や技術取得などを目的とする教育訓練講座を受講したときに、受講料の一部を補助します。	
母子家庭高等技能訓練補助金	安定した就労のために、看護師や保育士など、2年以上の修業を要する資格養成学校を受講した母子家庭の人に、修業期間の3分の2を経過した日以後、残りの修業期間(12か月以内)に、月額103,000円を支給します。	
母子・寡婦福祉資金の貸し付け	母子家庭と寡婦家庭の子が、高校や大学などに進学したときの就学支度資金や、修学資金、転宅資金などを貸し付けます。	市子育て支援課 ☎23-9590、FAX26-1768
児童扶養手当の支給	離婚や死別などの理由で父親と生計をともにしていないときに、児童扶養手当を支給します。	
保育などで手助けが欲しいとき	一時的な家事援助や保育サービスが必要なとき、家庭生活支援員を派遣します。	
子育て支援事業利用の助成	保護者の病気や急な用事などで、社会福祉法人やNPOが実施する「子育て支援事業」を利用したときに、利用料の一部を助成します。	
医療助成制度	医療機関を受診したときの医療費を助成します。	市保険年金課 ☎30-6112、FAX22-1398
高等学校に修学するとき	県立高校に在籍する生徒の修学を援助するため、授業料を免除する制度があります。	各県立高校
税の軽減	扶養親族などがある人は、所得税や住民税で寡婦(寡夫)控除が受けられることがあります。	市税務課 ☎30-6140、FAX22-1398

※それぞれの支援には、所得制限や適用要件があります。詳しくは、それぞれの担当窓口へお問い合わせください。



※特に記載のないときは無料です。

行 事 名	日 時	場 所	内 容・問 い 合 わ せ 先 等
ふれあいトーク 世界の話を聞く会 ～アメリカ～	8月4日(出) 13:00～14:30	市民会館2階会議室	内 容：カルビン大学生のホームタウンである、アメリカの地方都市の紹介を通じて、現代アメリカの状況を見聞します。 彦根市国際協会事務局(国際交流サロン内) ☎22-1411(内線590)
彦根市民活動センター 情報交換会	8月15日(休) 18:00～21:00 (毎月15日開催)	ひこね市民活動センター (金亀町) ☎24-4461	内 容：NPO、ボランティアなどの活動をしている人、これから活動を始めてみたい人などのための情報交換の場 参加費：300円と一品持ち寄り(食べ物、飲み物)
むかしばなしを聞く つどい	8月18日(出) 14:00～	市 立 図 書 館 ☎22-0649 FAX26-0300	内 容：昔話などを「語り」でします。 小学1年生以下 14:00～、小学2年生以上 14:40～ 彦根おはなしを語る会
天究館友の会 天体写真展	8月17日(出)～同31日(出) 10:00～18:00 (日曜日は10:00～17:00)		内 容：写真展 宇宙の神秘を楽しもう！ 月のクレーター・土星のリング・天の川…など 「冬のソナタで有名なポラリス(北極星)の写真も展示」
天究館友の会 星空と宇宙のお話し会	8月21日(出) 10:00～11:30		内 容：『夏の星空とポラリス(北極星)のみみつ』
楽しいおはなしの つどい	9月1日(出) 14:00～		内 容：絵本の読み聞かせ、パネルシアター、かげ絵 ひこね児童図書研究グループ
ひこねエコマーケット 「夢 畑」 ～いらないものをいる人へ～	8月18日(出)・同19日(出) 10:00～17:00	ひこね市文化プラザ 円型広場 (野瀬町)	内 容：リサイクル品、手作りの作品などの市(いち)から掘り出し物を見つけてください。 リサイクルステーション(銀座町) ☎・FAX26-4810 (問い合わせは、日・木曜日以外の10:00～16:00)
彦 根 朝 市	8月19日(日) 7:00～8:00	いろは松駐車場	販売品：新鮮な季節の野菜、卵、漬物など 販売者：彦根朝市組合 ☎農林水産課☎30-6118、FAX24-9676
和紙折り紙教室 (子どもシリーズ)	8月19日(日) 13:00～	自然の布館 よりーな (河原二丁目) ☎23-2035	テーマ：菊 講 師：野村和子 材料費：1,500円 持ち物：はさみ、定規、ポンド、竹べら 定 員：30人(先着順、あらかじめ電話でお申し込みください)
あなたにもできる オンリーワンのオシャレ	8月20日(月) 13:00～		内 容：初めての人も安心、手持ちの着物であなただけのオシャレを。 受講料：1,000円 講 師：坂田理恵 持ち物：裁縫道具一式 定 員：30人(先着順、あらかじめ電話でお申し込みください)
ひこね元気計画21 ウォーキング歩き隊	8月21日(火) 9:30～11:00	松 原 (市民体育センター前に集合)	内 容：松原の田園地帯を歩きます。琵琶湖や佐和山、さらには彦根城天守を望めるコースです。 ひこね元気計画21実行委員会事務局(園健康管理課内) ☎24-0816、FAX24-5870
2007びわ湖ヨシ たいまつまつりin柳川	8月25日(出) 17:00～21:00	柳川町の琵琶湖岸	内 容：一部 「よし笛」と「よし額」作り、 二部 和太鼓演奏、三部 盆踊り大会 ほか 同運営委員会(田付方) ☎43-6323
ひこね赤祭り	8月26日(日) 10:00～16:00	ひこね市文化プラザ (野瀬町)	内 容：国産車、外国産車を問わず赤い車が大集合。赤い物産展や、声優の池田秀一&古谷徹のトークライブも行われます。 同実行委員会☎24-0001
第23回たんぼまつり ～水と地域と障害者のふれあい～	9月2日(日) 10:30～15:30	たんぼぼ作業所周辺 (貫田山町)	内 容：ステージ企画・チャリティーバザー・模擬店など 同実行委員会(たんぼぼ作業所内) ☎25-2446、FAX28-2424
地域の将来を考えよう! 「市町合併について考える 意見交換会」	9月8日(出) 14:00～16:00	彦根商工会議所 (中央町)	内 容：将来を見据えた地域のあり方について、地域のみなさんと滋賀県行政関係者が意見を交換します。 定 員：100人(先着順、8月20日(月)までに要申込) 園湖東地域振興局地域振興課☎27-2209、FAX24-0878

秋の文化祭

【8月の行事】

主催：彦根市・彦根市教育委員会・(財)彦根市文化体育振興事業団
問い合わせ先 園教育委員会生涯学習課☎24-7971、FAX23-9190

行 事 名	期 間	時 間	会 場	入場料
第15回 かこう会 展	8月24日(金)～26日(日)	9:30～16:30	市民会館ギャラリー	無料
園芸・彦根城築城400年祭特別企画展 百花繚乱・彦根歴史絵巻・巻の6 幽玄・井伊家伝来・能面と能装束の名品	8月25日(出)～9月27日(休)(期間中無休)	8:30～17:00(入館受付)	彦 根 城 博 物 館	有料
ひこね演劇鑑賞会 第46回例会 劇団青年座公演「深川安楽亭」	8月30日(木)	18:30～21:00(開場は18:00)	ひこね市文化プラザ グランドホール	有料
第33回 彦 光 会 洋 画 展	8月31日(金)～9月2日(日)	9:30～17:00(2日は16:00まで)	市民会館ギャラリー	無料

湘潭市児童芸術団公演

入場券発売中

彦根市の友好都市・中国湖南省湘潭市から、児童芸術団がやってきます。悠久の昔から伝わる、優雅な舞や歌をお楽しみください。

日 時 8月19日(日) 15:00～(会場14:30)
場 所 ひこね市文化プラザ グランドホール
入場料 500円



問い合わせ先 園市民交流課☎30-6113、FAX22-1398



多くの市民が参加した
昨年の防災訓練(会場は彦根中学校)

防災意識を高めよう

大雨と大規模地震の発生による被害を想定した防災訓練を行います。

主催の東中学校では、住民の避難・誘導訓練や地震体験など、さまざまな訓練を、参加した皆さんに体験していただきます。また、災害時における水道・ガス・電気などのライフライン機関などの対応、消防機関が行う火災防ぎよ訓練などの臨場感あふれる訓練を見ていただき、防災意識の高揚を目指します。家族や地域の皆さんといっしょにぜひご参加ください。

また、鳥居本地区公民館と稲枝北小学校では、土砂災害警戒区域に指定されている地域の皆さんを対象にした避難訓練を行います。

主な訓練内容
避難訓練、初期消火訓練、水防訓練(土の

う積みなど)、ヘリコプターによる救出訓練、負傷者の救出・救護訓練、ライフラインの保守・復旧訓練、火災防ぎよ訓練、救護物資の搬送訓練、炊き出し訓練、起震車による地震体験、応急救護所設置、水消火器体験、非常食の試食、災害ボランティアセンターの設置など

訓練参加機関

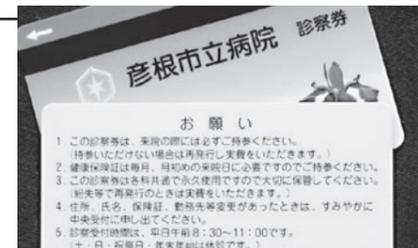
彦根市消防団、近隣各自治会、近隣各自主防災組織、彦根市地域婦人団体連絡協議会、彦根市赤十字奉仕団、ひこね災害ボランティアネットワーク、各ライフライン関係機関、各防災関係機関、エフエムひこねコミュニティ放送(ほかに) 問い合わせ先 園総務課☎30-6100番、FAX22-1398番



▲消防による建物からの救出訓練

彦根市防災訓練

日時 8月25日(日) 午前8時30分～同11時30分
会場 東中学校グラウンド(芹川町)、鳥居本地区公民館、稲枝北小学校



市立病院の外来受診受付は時間内に!

現在、全国的に医師が不足しているため、一部も例外ではなく、医師不足のため、一部の診療科では診療を制限しています。地域の診療所での対処が困難で、緊急を要する患者さんや、入院が必要な重症の患者さんを診療するに、市立病院の機能を維持するため、皆さんにご理解とご協力をお願いします。

土・日曜日と祝日は彦根休日急病診療所などをご利用ください

外来診療の受付時間は月々金曜日の午前8時30分から同11時まで

市立病院では、土・日曜日と祝日、および年末年始は一般の外来診療はしていません。これらの日に、体調を崩した場合には、地域のかかりつけ医か、彦根休日急病診療所をご利用ください。

救急の患者さんの診療は時間外も受け入れます

地域の診療所からの紹介や、救急車で搬送された患者さんの診療は、これまでどおり、いつでも受け付けます。

問い合わせ先 市立病院企画経営課☎22-6050番、FAX26-0754番、彦根休日急病診療所については園健康管理課☎24-0816番、FAX24-5870番

動く図書館 **たちばな号**
 市立図書館 ☎22-0649
 巡回日程【8月後半～9月前半】 FAX26-0300

日・曜日	駐 車 場	時 間
8月16日(木)	清 崎 町 浄 宗 寺 亀 山 ニ ュ ー タ ウ ン 日夏ニュータウン第2期集会所前	13:30 14:20 15:10
17日(金)	開 出 今 菅 原 神 社 蔵 の 町 団 地 中 央 開出今第2団地(市立病院前)	13:20 14:10 15:00
21日(火)	平 田 町 大 沢 高 岸 B 公 園 西 今 町 松 田 団 地 西 葉 町 伊 庭 団 地 若 菜 小 学 校 東 門	11:00 13:20 14:10 15:00
22日(水)	稲 里 町 公 民 館 稲 枝 地 区 公 民 館 稲 枝 駅 前	13:30 14:20 15:10
24日(金)	千 鳥 ケ 丘 会 館 岡 町 東 光 寺 前 平 田 町 明 照 寺	13:15 14:00 14:50
28日(火)	大 藪 町 農 業 倉 庫 下 後 三 条 説 教 場 中 藪 一 丁 目 白 山 神 社	13:20 14:10 15:00
30日(木)	新 海 町 公 民 館 田 附 町 公 民 館 本 庄 町 公 民 館	13:30 14:20 15:10
31日(金)	普 光 寺 町 (東 ノ 辻 広 場) 彦 富 町 公 民 館 金 沢 町 公 民 館 港 屋 駐 車 場 東	11:00 13:10 14:00 14:50
9月4日(火)	宮 田 町 山 田 神 社 JA東びわこ鳥居本支店駐車場 鳥 居 本 高 根 団 地 小 野 こ ま ち 会 館	11:00 13:20 14:10 15:00
5日(水)	太 平 団 地 東 山 会 館 湖 上 平 団 地 堤 医 院 前	13:20 14:10 15:00
6日(木)	葛 籠 町 公 民 館 高 宮 地 域 文 化 セ ン タ ー B S ア パ ー ト 2 号 棟	13:30 14:20 15:10
7日(金)	清 崎 町 ば ん ば JA東びわこ本店前駐車場 河 瀬 地 区 公 民 館	13:20 14:10 15:00
11日(火)	多 景 保 育 園 横 長 曾 根 町 中 彦 根 ニ ュ ー タ ウ ン 中 央 部	13:20 14:10 15:00
12日(水)	楡 公 民 館 昭 和 電 工 茂 賀 ハ イ ツ WAととねす春日(旧広野会館)	13:30 14:20 15:10
13日(木)	鳥 居 本 地 区 公 民 館 小泉町百貨卸センター駐車場(東側) 東 沼 波 町 秋 葉 神 社 旭 森 地 区 公 民 館	11:00 13:20 14:10 15:00
14日(金)	JA東びわこ種子センター 滋 賀 観 光 バ ス 彦 根 営 業 所 ロ ー ソ ン 彦 根 外 町 店 駐 車 場	13:20 14:10 15:00

※「オーミ緑化造園」は、「ローソン彦根外町店駐車場」に場所が変わります。

図書館休館日 8月20日(月)、23日(木)、27日(月)、
8月後半～9月前半 9月3日(月)、10日(月)

第2回 彦根市廃棄物減量等推進審議会

ごみの減量化を進める方策と、有料化について検討する審議会です。会議は公開で行われ、傍聴できます。今回の会議では、清掃センター視察、ごみ対策の総点検、ごみ処理有料化の基本事項整理を行います。

し尿収集予定日 8月後半～9月前半
 彦根市事業公社 ☎23-4135 FAX23-4134

※臨時の収集については、早めにお申し込みください。(臨時の収集は、原則として毎週火・金曜日に実施します。)

※収集の状況によって、収集日は3日程度前後することがありますが、ご了承ください。



8月後半

- 17日(金) 日夏、亀山地区、稲枝(西)、肥田(西肥田を除く)、上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩、金沢(金沢団地)
- 20日(月) 日夏、亀山地区、稲枝(東)、肥田(西肥田)、稲部(稲部東)、野良田、田附、新海、南三ツ谷、甲崎
- 21日(火) 鳥居本地区、日夏、亀山地区、柳川、上西川、下西川、上石寺、下石寺、稲部(稲部)、稲里、肥田(西肥田)、金沢
- 22日(水) 鳥居本地区、岡、西沼波(東部を除く)、東沼波、大堀、大橋、元岡、沼波、日夏、亀山地区、金沢、稲部(稲部南)
- 23日(木) 鳥居本地区、東沼波、大堀、錦(第2・3部)、河原一丁目、河原二丁目、河原三丁目、河瀬地区、彦富、稲部(稲部南)
- 24日(金) 鳥居本地区、河瀬地区、金田、上岡部、下岡部、彦富
- 27日(月) 鳥居本地区、古沢、松原(四ツ川を除く)、高宮地区、河瀬地区、彦富
- 28日(火) 高宮地区、河瀬地区、亀山地区、彦富(笹田団地)
- 29日(水) 高宮地区、河瀬地区、亀山地区
- 30日(木) 高宮地区、河瀬地区
- 31日(金) 高宮地区、河瀬地区

9月前半

- 3日(月) 幸、松原一丁目、松原二丁目、松原(四ツ川)、野田山、正法寺、地藏、原(原西団地)、西沼波(東部)、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、銀座、中央(第1・4部)、芹橋一丁目、芹橋二丁目(河原二丁目の一部を含む)、三津
- 4日(火) 幸、芹、安清、外、里根、野田山、正法寺、地藏、平田(大沢)、西今、開出今蔵の町団地、八坂東団地、三津、海瀬
- 5日(水) 里根、外、戸賀、小泉、開出今蔵の町団地、八坂東団地、野瀬、西今、三津、海瀬
- 6日(木) 芹川、戸賀、小泉、山之脇、開出今、西今、三津屋
- 7日(金) 後三条(下)、芹川、馬場一丁目、馬場二丁目、長曾根、八坂北、開出今団地(第1・3部)、大藪、開出今、西今、三津屋
- 10日(月) 中央(第2・3部)、立花、金亀、尾末、城町一丁目、城町二丁目、米町一丁目、米町二丁目、池州、大藪、開出今、甘呂、宇尾、須越
- 11日(火) 元、船、旭、京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、中藪一丁目、中藪二丁目、中藪、長曾根南、甘呂、宇尾、須越、八坂
- 12日(水) 京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、佐和、大東、錦(第1部)、和田、平田(大沢を除く)、甘呂、宇尾、須越、八坂、橋向、後三条(上)
- 13日(木) 京町一丁目、京町二丁目、京町三丁目、新、芹中、平田(大沢を除く)、竹ヶ鼻、甘呂、日夏、八坂、出路、田原
- 14日(金) 日夏、竹ヶ鼻、亀山地区、稲枝(西)、稲部(稲部)、肥田(西肥田を除く)、服部、上稲葉、下稲葉、本庄、普光寺、薩摩

日時 8月3日(金) 13:30～16:30

※施設を視察するため、会議は14:45～

場所 彦根市事業公社 2階会議室(野瀬町)

申込・問い合わせ先 団清掃センター管理課(野瀬町)

☎22-2734、FAX24-7787



相談

相 談 名	日 時	場 所	内 容 ・ 問 い 合 わ せ 先 等
行政相談	8月6日(月) 13:00～15:00	市民相談室(市役所1階)	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
巡回行政相談	8月20日(月) 13:00～15:00	鳥居本出張所	国・県・市などに対する苦情や意見・要望に関する相談 ☎まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
行政書士無料相談会 相続手続相談	8月10日(金) 13:00～15:00	市民相談室(市役所1階)	相続に関する手続き(遺言書の作成、遺産分割に関することなど)についての相談 ☎まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
こころの健康相談 認知症相談	8月10日(金) 13:30～16:30	彦 根 保 健 所 ☎22-1770	認知症の有無や程度、医療の必要性や、認知症高齢者への対応方法の指導などを行います(予約制)
こころの健康相談 一般相談	8月10日(金)、24日(金) 13:30～16:30		こころの健康に不安を持つ本人や家族から、困っていることや生活のようすなどを聞き、必要に応じて医学的指導、医療機関や施設の紹介などをします(予約制)
うつ病相談	8月16日(木) 13:30～16:30		うつ病はすべての人に起こりうる身近な問題です。心に不安を持つ本人および家族の相談に応じ、医療・保健・福祉の側面から個別に援助を行います(予約制)
アルコール相談	8月23日(木) 14:00～16:00	市民相談室(市役所1階)	アルコール依存症などの問題について、本人や家族の相談に精神科医師、保健師が応じます(予約制)
人権相談	8月15日(水)、9月5日(水) 13:00～15:00	市民相談室(市役所1階)	いじめ、あらゆる差別など、人権に関する相談 ☎人権政策課☎30-6115、FAX22-1398
障害者相談	8月15日(水) 13:30～15:30	障害者福祉センター	県身体障害者・知的障害者相談員による、障害のある人の自立や社会参加などに関する相談 ☎障害福祉課☎27-9981 FAX26-1767
登記 表示登記相談	8月17日(金) 13:00～16:00	市民相談室(市役所1階)	相続・売買登記、土地の分筆・合筆、建物登記などの相談 電話による予約制(受付は、8月8日(水)午前8:30から先着6人) ☎まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398
滋賀弁護士会 法律相談	8月24日(金) 13:00～16:00	市民相談室(市役所1階)	電話による予約制(受付は、8月15日(水)午前8:30から先着6人) 相談料：1回5,250円(相談日当日にお支払いください) ☎まちづくり推進室☎30-6117、FAX22-1398(市内在住者に限定)
日曜納税相談	8月26日(日) 10:00～16:00	☎納 税 課 ☎22-9379	毎月1回、日曜日に納税相談窓口を設けて、納税についての相談を受け付けます
男女共同参画ウィズ相談室 総合相談	毎週水・木・金曜日(祝日は除く) 13:00～16:00	男女共同参画センター「ウィズ」 (福祉保健センター前)	女性、男性を問わず、心の悩み、夫婦・家族関係、職場の人間関係(セクハラなど)、子どもに関することなど、さまざまな相談に応じます
男女共同参画ウィズ相談室 こころの悩み相談	8月27日(月) 13:00～16:00	相談専用ダイヤル ☎21-5757	臨床心理士が、心のさまざまな相談に応じます(予約制) 申込は水・木・金曜日(13:00～16:00)に、相談専用ダイヤルへ
近畿税理士会彦根支部 無料税務相談	9月4日(火) 13:30～16:30	21会議室(市役所2階)	確定申告や医療費控除、相続税、贈与税など、税金全般に関する相談 電話による予約制(先着6人) ☎税務課☎30-6140、FAX22-3052
勤労者のための 法律相談	9月7日(金) 18:30～	ひこね燦ばれす ☎26-7272	電話による予約制(受付は、8月25日(土)午前9:00から先着3人) 相談料：1回1,000円(相談日当日にお支払いください)
ライフデザイン相談	9月8日(土) 14:00～		家計簿診断・年金・預貯金・保険・資産運用など、自立した老後を迎えるための生活設計に関する相談 電話による予約制(受付は、8月21日(水)午前9:00から先着4人)
司法書士 無料法律相談	9月15日(土) 9:30～12:30	彦根勤労福祉会館 2階研修室	サラ金、クレジット、少額裁判などの法律相談(3週間前から予約受付) 司法書士総合相談センター彦根☎077-527-5576
彦根市立病院 医療相談	毎月第1・3木曜日(祝日は除く) 9:00～12:00	彦根市立病院2階 医療相談室 ☎22-6050	受診や療養など、市民の医療に関する相談に、担当の医療ソーシャルワーカーと看護師が応じます
子どもと親の悩みの 相談電話	毎週月・火曜日(祝日は除く) 14:00～17:00	☎教 育 研 究 所 ☎23-7867	悩みを抱える子どもからの相談、子育てで悩んでいる保護者や家族からの相談に応じます。(電話相談)
交通事故相談	毎週火・木曜日(祝日は除く) 9:00～16:00	湖 東 合 同 庁 舎	被害者、加害者を問わず、専門の相談員が相談に応じます。また、電話による相談も受け付けています。(祝日を除く毎週月～金曜日) 県立交通事故相談所彦根分室☎27-2230
よろず相談	毎週水・金曜日(祝日は除く) 13:00～16:00	福 祉 保 健 セ ン タ ー 別 館 2 階 相 談 室	仕事のこと、家族のこと、地域のことなど、困りごとよろず相談 彦根市社会福祉協議会☎22-2821 FAX22-2841
多言語電話相談	毎週水・木・金曜日(祝日は除く) 10:00～16:00 (12:30～13:30は除く)	☎27-2400 (相談専用電話)	日本語の習慣や制度、市役所などでの手続き、生活の中で困ったことなどの相談に3つの言語で対応します。 水曜日=英語、木曜日=ポルトガル語、金曜日=中国語
職業相談・紹介	毎週月～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:00	彦根パートバンク(旭町 田中ビル2階) ☎26-8810	パート・フルタイム・年齢を問わず、どなたでも職業の相談・紹介をしています。
子ども・家庭相談	毎週月～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:15	☎家 庭 児 童 相 談 室 ☎23-7838	子どもを始めとする家庭内の悩み相談(育児不安・児童虐待・夫婦間暴力等)
消費生活相談	毎週月～金曜日(祝日は除く) 9:15～12:00 13:00～16:00	☎生 活 環 境 課 (市役所1階) ☎22-1411 (内線173)	架空請求への対処、悪質商法の被害、クーリング・オフの方法など、身近な消費生活や契約にかかわるトラブルに関する相談。
のぞみ相談室	毎日 10:00～22:00	☎21-1080 (電話による相談)	ひとり親家庭等の相談、DV(配偶者または親密な関係の異性からの暴力)に、専門の相談員が応じます。

※特に記載のないとき、相談料は無料です。



健康管理だより

☎健康管理課
(平田町・福祉保健センター1階)

☎24-0816 FAX24-5870

電話番号は、おかけ間違いのないようにご注意ください。



ひこね元気計画21
マスコットキャラクター
「コンキークン」

赤ちゃんサロン

☆母子健康手帳をお持ちください。
日時 9月3日(月) 9:45~11:30
(受付は9:30~9:45)
場所 福祉保健センター
対象 2~3か月児とその保護者
内容 子育てに関する情報交換など

すくすく相談

☆母子健康手帳をお持ちください。
●身体計測(9:30~11:00)
9月6日(木) 福祉保健センター別館2階
対象:4か月~1歳未満児
9月13日(木) 福祉保健センター別館2階
対象:1歳以上の児
9月27日(木) 福祉保健センター
対象:4か月未満の児
※全乳幼児対象の個別相談も行います。

●身体計測・個別相談(9:30~11:00)
9月21日(金) 東山会館
9月25日(火) WAつとね春日(旧広野会館)
9月26日(水) 稲枝地区公民館

離乳中期相談

☆母子健康手帳をお持ちください。
日時 9月20日(木) 9:45~11:30
(受付は9:30~9:45)

もうすぐパパ・ママになる人のための

パパママ学級

出産について、もうすぐパパ・ママになる人と一緒に学んでみませんか。
内容 赤ちゃんのお世話(お風呂に入れたり、おむつ交換など)の体験、これからの育児についての話 など
☆母子健康手帳をお持ちください。
日時 9月8日(出) 10:00~12:00
(受付は9:45~10:00)
場所 福祉保健センター
対象 妊娠16週以降の妊婦と夫(夫婦での参加とします)
定員 18組(申込多数の場合は、妊娠週数が進んでいる人や第1子出産予定の人を優先します)
申込期間 8月15日(水)~8月22日(水)
申込方法 電話で困健康管理課へ



9月の乳幼児健康診査

場所 福祉保健センター別館(旧勤労青少年ホーム)2階

健診名	実施日	対象	受付時間
4か月児	11日(火)	平成19年5月生	13:00~
	18日(火)		
10か月児	12日(水)	平成18年11月1日~14日生 11月15日~30日生	14:00
	19日(水)		

場所 福祉保健センター

1歳6か月児	14日(金)	平成18年3月1日~14日生 3月15日~31日生	13:00~
	21日(金)		
2歳6か月児	13日(木)	平成17年3月1日~14日生 3月15日~31日生	14:00
	20日(木)		
3歳6か月児	3日(月)	平成16年3月1日~15日生 3月16日~31日生	
	10日(月)		

場所 南老人福祉センター(稲枝支所の北隣・田原町)

4か月児	26日(水)	平成19年5月生 (主に亀山・稲枝地区の児)	13:30~
		平成18年11月生 (主に亀山・稲枝地区の児)	
10か月児	26日(水)		14:00

※乳幼児健康診査についてのお問い合わせは、直接困健康管理課(上記参照)へ。

※4か月児健診以外、個人通知はありません。
※10か月児以上の健診は、「すくすく手帳」で健診内容・持ち物をご確認ください。
※2歳6か月児健診には、**歯ブラシとコップ**が必要です。
※3歳6か月児健診では、視力検査、検尿があります。朝一番の尿をきれいに洗ったビンなどに入れてお持ちください。

歯みがき教室があります

ブックスタート事業が始まります!

ブックスタート事業とは、赤ちゃんの保護者が、絵本の開き読みを体験する事業です。
4か月健診時に絵本を手渡し、絵本を通して保護者と赤ちゃんがゆっくりと向き合い、心の交流や

8月の4か月健診から

肌のふれあいを
感じるきっかけ
となることを目的としています。
問い合わせ先 困子ども未来室
☎・FAX28-1580



ウェルカムシンポジウム2007 生きGUYみつけてナイスGUYへ!!

参加無料

戦後の日本を支えた、「団塊の世代」の人たちが定年を迎え始めました。今まで職場と家庭を往復する毎日だった人も、そろそろ退職後の生活が気になりだした人も、これからの新たな出発に向けて考えましょう。
内容 講演「生きGUYみつけてナイスGUYへ!!」(講師 滋賀県立大学 人間文化学部教授 武邑尚彦さん)、体験談の発表 ほか
日時 9月16日(日) 12:30~16:00

場所 ひこね市文化プラザメッセホール(野瀬町)
対象 市内に在住、在勤するおおむね65歳までの男性(先着150人)
申込方法 電話、ファクス、Eメールで困介護福祉課まで申し込んでください。
申込締切 8月31日(金)
申込・問い合わせ先 困介護福祉課
☎23-9660、FAX26-1768、Eメール:kaigo@mx.biwa.ne.jp



予防接種

—BCG接種—

対象 ●接種当日満3か月以上満6か月未満児

実施日	対象
9月12日(水)	・平成19年5月23日~6月12日の出生児 ・上記以前の6か月未満児で未接種児
9月28日(金)	・平成19年6月13日~6月28日の出生児 ・上記以前の6か月未満児で未接種児

受付時間 13:10~14:10
場所 福祉保健センター
※当日満3か月未満、または満6か月以上になる月齢のお子さんは受けられません。

がん検診

☆事前に困健康管理課へ電話またはファクスで申し込んでください。
☎24-0816、FAX24-5870
☆予約制、先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。(ファクスでの申込は、希望日時に受付できない場合のみ連絡します。)
☆彦根市が実施する各がん検診の受診回数は、年間1人1回です。(子宮がん・乳がん検診は2年に1回)

子宮がん・乳がんセット どちらか一方だけの検診も受けられます

実施日	場所(受付時間)
8月17日(金)	福祉保健センター (9:00~10:00)
8月21日(火)	

定員 各検診とも50人
対象 子宮がん検診 彦根市に住民登録のある検診当日満20歳以上の女性
乳がん検診(2方向) 彦根市に住民登録のある検診当日満40歳~49歳の女性
乳がん検診(1方向) 彦根市に住民登録のある検診当日満50歳以上の女性
検診料
子宮がん検診 …… 900円
乳がん検診(2方向) …… 1,400円
乳がん検診(1方向) …… 1,000円
予約受付 8月1日(水)から

胃がん・大腸がんセット どちらか一方だけの検診も受けられます

日時・場所(定員)
9月21日(金) 福祉保健センター

健康管理だより



けんこう相談

●保健師による相談
(9:30~11:00)
9月14日(金) 福祉保健センター
9月21日(金) 福祉保健センター
9月21日(金) 東山会館
9月25日(火) WAつとね春日(旧広野会館)
9月26日(水) 稲枝地区公民館
※上記の日程以外にも、困健康管理課では電話での相談を随時行っています。

栄養相談

●管理栄養士による相談
☆治療中の病気のある人は、主治医の許可が必要です。
(9:00~11:50)〈予約制〉
9月10日(月) 福祉保健センター
9月28日(金) 福祉保健センター

らくらく禁煙相談

禁煙に対する不安や疑問を取り除き、効果的な禁煙方法をアドバイスします。
日時 9月12日(水) 9:00~11:40
場所 福祉保健センター
定員 6人(予約制。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。)

内容
●呼気中の一酸化炭素濃度測定による肺の中の汚れ度をチェック
●検尿による尿中ニコチン濃度測定でニコチン依存度をチェック
●禁煙の疑問やノウハウ等についての個別相談(1人30分程度)

9月27日(木) 彦根市民会館
10月1日(月) 福祉保健センター
10月5日(金) 福祉保健センター
10月11日(木) グリーンピアひこね

福祉保健センター	胃・大腸前半	9:00~9:45
福祉保健センター	胃・大腸後半	10:15~11:00
	大腸のみ	11:00~11:30
市民会館 グリーンピアひこね	胃・大腸前半	9:10~10:00
	胃・大腸後半	10:15~11:00
	大腸のみ	10:00~11:00

定員 各検診とも45人
対象 彦根市に住民登録のある検診当日満40歳以上の人
検診料
胃がん検診 …… 900円
大腸がん検診 …… 500円
予約受付 8月1日(水)から

市民健康診査

(基本健康診査・結核健康診断)
肺がん検診・肝炎ウイルス検診
内容 血圧測定、尿検査、血液検査、内科診察、胸部レントゲン検査、B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検診など
対象 彦根市に住民登録のある人で、昭和12年(1937)4月2日~平成元年(1989)4月1日生まれの人(ただし、結核健康診断は、4月1日現在満64歳以上の人、肺がん検診は、満40歳以上の人)
日程 右段の表のとおり
受付時間 午前…… 9:30~11:00
午後…… 13:00~14:30
健診料 600円~2,900円
※持ち物などの詳細については、広報ひこね5月15日号と同時に配布した「保存版平成19年度(2007年度)各種健(検)診日程のご案内」をご覧ください。

※主治医がなく、寝たきりや、家族の介護が常時必要で受診できない人は、医師による訪問健康診査があります。詳しくは、困健康管理課にお問い合わせください。

実施日	場所	受付区分
8月23日(木)	高宮地域文化センター	午前・午後
8月24日(金)	高宮地域文化センター	午前・午後
8月28日(火)	東山会館	午前・午後
8月29日(水)	ハビネスひこね	午前・午後
8月30日(木)	東地区公民館	午前・午後
8月31日(金)	東地区公民館	午前・午後
9月4日(火)	福祉保健センター	午前・午後
9月5日(水)	福祉保健センター	午後
9月6日(木)	旭森地区公民館	午前・午後
9月7日(金)	福祉保健センター	午前・午後
9月11日(火)	千鳥ヶ丘会館	午前・午後
9月13日(木)	西地区公民館	午前・午後
9月14日(金)	西地区公民館	午前・午後

市民健康診査・がん検診を受ける皆さんへ

健診(検診)料が無料になるときのあります。また、がん検診は体調などにより検診を受けられない場合があります。詳しくは広報ひこね5月15日号と同時に配布した「保存版平成19年度(2007年度)各種健(検)診日程のご案内」をご覧ください。

この「広報ひこね」は42,000部作成し、1部当たりの単価は14円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

—彦根城再発見—
400年目の出会い
第17回 旧西郷屋敷長屋門

旧西郷屋敷長屋門は、彦根城の内堀と中堀の間の第二郭、現在の裁判所の一角に建っています。第二郭は、かつては家老など千石以上の重臣の邸宅が広がっていたところでした。この場所には、知行高3,500石の家老西郷家が、代々屋敷を構えて京橋口を守備しており、長屋門は京橋口に面して建てられています。

長屋門は、桁行24間（約48m）、梁間3間（約6m）の入母屋瓦葺の長大な建物です。やや南に偏って設けられた門は、2本の鏡柱を立てて冠木を渡し、その内に両内開きの板扉を配して、両側に潜戸を備えています。門の両脇には出窓があり、高い格式を示す豪壮な造りとなっています。

長屋門の内部は、現在は裁判所施設として改造されていますが、平成4～7年度に実施された解体修理工事によって、かつては門から南には供侍部屋が、北には番所部屋とともに馬8頭を収容する馬屋などが存在したと推定されています。

また、この修理工事では、冠木に墨書があり、長屋門が寛保2年（1742）に庵原家によって建立されたものであることが判明しました。明治16年（1883）に当地に裁判所が設立された際、西隣の庵原家の長屋門が現在地に移築されたと考えられます。この建物は彦根藩の重臣クラスの長屋門として貴重であり、昭和48年（1973）に彦根市の指定文化財となっています。



▲旧西郷屋敷長屋門

彦根市介護相談員を募集します



介護施設を利用している人のなかには、要望や不満を抱きながらも、職員に対する気がねなどから、我慢している人もいると言われています。

介護相談員は、介護サービスを提供する施設を2人1組で定期的に訪問し、利用者の声を聞き、それをサービス提供者に伝えるなど、よりよい介護サービスの実現に役立っています。現在は、10人の介護相談員が活動しています。この介護相談員を、新たに募集します。

定員 5人

資格 ボランティア精神のある、介護や高齢者福祉にかかわりながら地域づくりに貢献する意欲のある人（特に専門的な資格を要しませんが、実際に活動する前に、5日間程度の養成研修を受講していただきます。）

任期 3年

申込・問い合わせ先 ㊦介護福祉課 ☎23-9660、FAX 26-1768

彦根市都市計画マスタープランを策定しました



▲彦根市都市計画マスタープランの冊子

彦根市では、彦根市総合発展計画「市民がつくる 安心と躍動のまち 彦根」の実現に向け、市の都市計画に関する基本的な方針となる「彦根市都市計画マスタープラン」を策定しました。詳しい内容は、彦根市ホームページでご覧いただけるほか、希望者には㊦都市計画課で販売します。

販売価格 1冊 1,600円

問い合わせ先 ㊦都市計画課 ☎30-6124、FAX24-8517

搬入できません！事業系粗大ごみ 7月11日～同13日

㊦清掃センターでは、粗大ごみ処理場の補修工事を行います。工事期間中は、事業に伴い発生した粗大ごみの搬入ができません。ご協力をお願いします。

なお、一般家庭からの搬入、および有料戸別収集は、この期間も通常どおり受け付けます。

期間 7月11日(水)～同13日(金) (3日間)

問い合わせ先 ㊦清掃センター施設課 ☎24-3879、FAX24-2850、有料戸別収集の受付は同センター管理課 ☎22-2734、FAX24-7787まで

人口と世帯数

平成19年6月1日現在

人口	111,131人 (+ 26)
男	54,669人 (+ 65)
女	56,462人 (- 39)
世帯数	41,876世帯 (+ 54)

() 内は前月との比較



「広報ひこね」は、環境に配慮し古紙配合率100%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。